

かわだ じゅんぞう
川田 順造 さんが
秋の叙勲 **瑞宝重光章を受章**
ずいほうじゅうこうしょう

湯河原町民の川田順造さんが、秋の叙勲、瑞宝重光章受章の栄に輝きました。

川田さんは、東京大学教養学部教養学科文化人類学学科を卒業し、同大学大学院で博士課程を修了したのち、パリ第5大学でアフリカ研究では日本人として初めて博士号を受けました。

昭和37年に初めてアフリカを訪れて以来、時には3年以上にもわたって滞在し、通算して10年近く西アフリカで人類学的な調査を重ね、数多くの著書を執筆されています。

「わかりやすく書くことだけを心がけている」とおっしゃる川田さんの文章は、ノンフィクション部門で学校の教科書への採用率や大学入試への出題率がトップクラスで、最近では高校の入試にも出題されています。

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授、広島市立大学国際学部教授、神奈川大学大学院教授を経て、現在は神奈川大学特別招聘教授、同大学の日本常民文化研究所客員研究員です。



◆ご受章おめでとうございます。

◆さわやかな秋晴れでした。



いけみね 池拳もみじの郷 11/27(土)

絶好のハイキング日和の中、見ごろを迎えたもみじの郷に行ってきました。春先の雪や猛暑の影響などで、紅葉の状態が心配されましたが、赤や黄色に美しく色づいたもみじたちがお迎えてくれました。

広場ではハイカーたちが、お弁当を広げて紅葉観賞です。青空の下でのお弁当は格別ですね。

◆みんなとっても積極的です。



子ども議会 12/15(水)

子どもたちの視点でまちづくりを考える「湯河原町子ども議会」が、役場の町議会本会議場で開かれました。『夢や希望が持てる町「未来のゆがわら」を語ろう』をテーマに、湯河原町内の小学生 26人が議員になって、6項目の質問書が提出されました。みんなの意見やアイデアが、一つでも多く実現するといいですね。

冬ほたる in万葉 12/18(土)

6回目を迎える『冬ほたるin万葉』が独歩の湯で開催されました。会場は、初夏にしか見ることのできないほたるをイメージした幻想的な光に包まれ、訪れた皆さんはロマンティックな夜の足湯を楽しんでいました。



◆心も体もあたたまります。

COFFEE BREAK
コーヒーブレイク

▶皆さん、明けましておめでとうございます。2011年の新春をいかがお過ごしですか。お正月にこたつに入りながら、広報ゆがわらを読んでいるという方も多いのではないのでしょうか。▶今月号の特集では、お正月らしくということで、FM熱海湯河原とのタイアップで、新春特別対談を企画してみました。湯河原が大好きだという辻さんと松井さんを迎えての対談は、写真を撮っている私も楽しくなるような、心が“ほかほか”になる対談でした。▶自分が楽しいと思えるような仕事に出会えるのは幸せなことです。読者の皆さんに、より「わかりやすい」「伝わる」広報づくりを目指しながら、これからも楽しい取材や企画ができるといいと思います。本年もどうぞよろしくお祈りします。(か)